

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 3 週 (1月15日~1月21日)

## ＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 患者 3 人 血清型 O157 3 人
四類感染症 E型肝炎	1 人 推定感染地域 不明
レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp.
急性脳炎	1 人 病原体 不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A群 2 人、G群 1 人
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
梅毒	11 人 病型 早期顕症Ⅰ期 5 人、 早期顕症Ⅱ期 4 人、 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	1 人 年齢階級 10 歳代

## ＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(6.51→9.26→14.50:図 1-1~2)は、前週に引き続き大きく増加した。保健所別では県内全ての保健所管内において前週の値を上回り、特に幸手(24.79)保健所管内からの報告が多く、春日部(11.60→21.40)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、特に10歳未満(419人→1050人)及び10歳代(303人→593人)において顕著な増加がみられた。基幹定点における入院患者の報告は76人(前週75人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の7割であった。

## ＜定点把握対象疾患の患者情報＞

インフルエンザ(15.88→22.56:図 2-1~4)及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.99→5.18:図 3-1~2)は、第2週以降、再び増加傾向に転じている。前者の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、県内全ての保健所管内で前週の値を上回っており、特に南部(33.88)、幸手(32.21)、春日部(30.00)の3保健所管内で、定点当たり報告数30.00以上であった。後者の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、幸手(5.67→15.00)、春日部(4.17→12.50)保健所管内で大きく増加し、南部(14.00)保健所管内からの報告が多い。感染性胃腸炎(7.20→10.09:図 4)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、春日部(22.83)、南部(19.80)保健所管内からの報告が多い。咽頭結膜熱(1.48→1.13)の定点当たり報告数は、前週と比較し減少したものの、依然として多い状況が続いている。保健所別では、春日部(3.83)、南部(3.60)保健所管内からの報告が多く、定点当たり報告数3.00を上回っている。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎26人の報告があった。基幹定点報告疾患では、インフルエンザ(入院)(図 2-4)20人(前週19人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧いただけます。



図 2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移 (2024 年第 1 週～第 3 週)

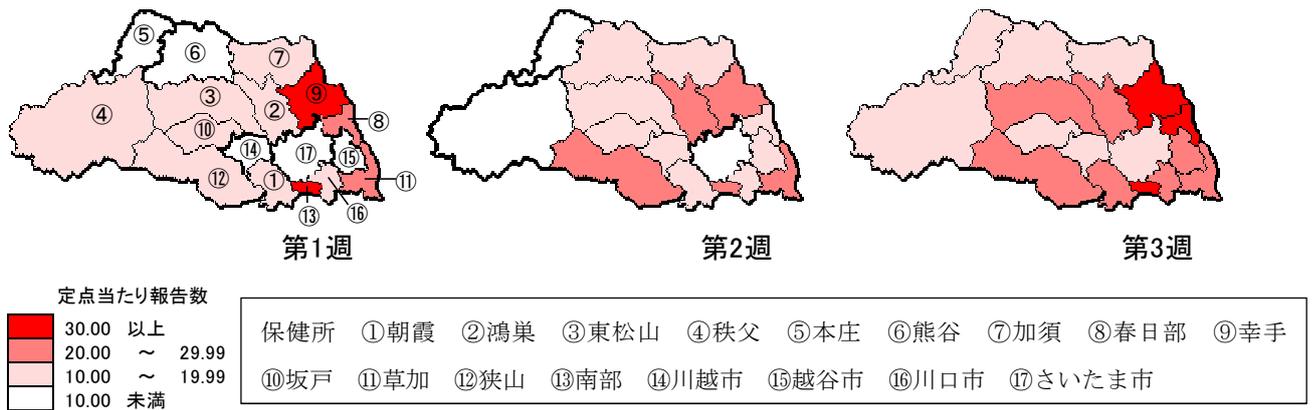
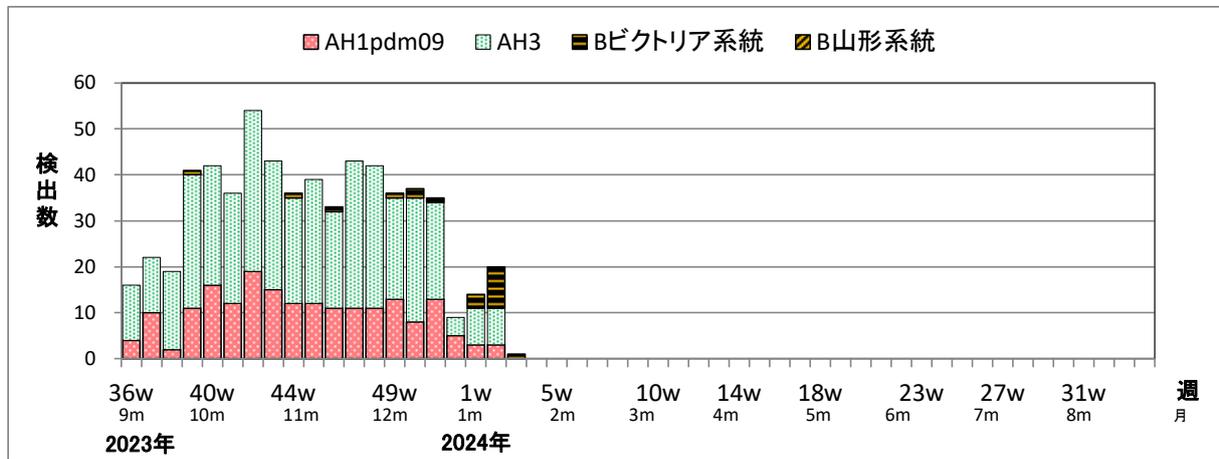


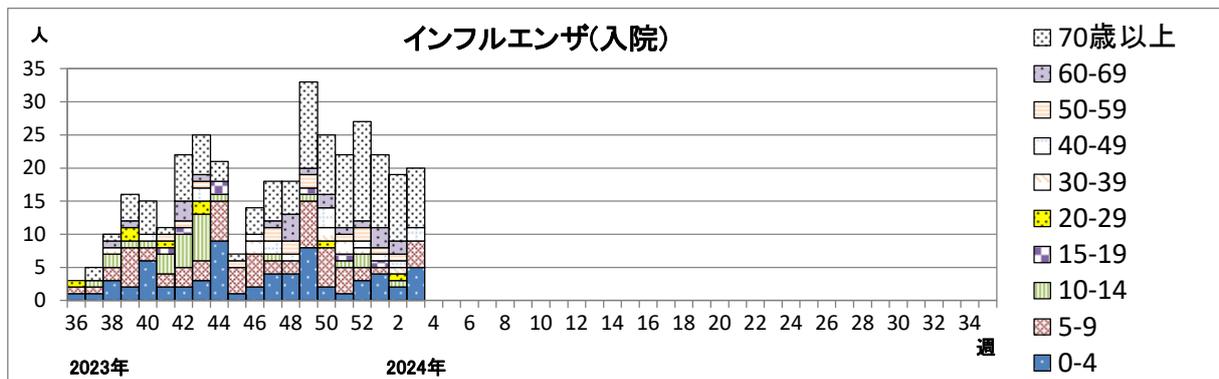
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2023 年第 52 週～2024 年第 2 週 (2023 年 12 月 25 日～2024 年 1 月 14 日) の 3 週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別の終了した 43 検体は、AH3 型が 20 件 (46.5%)、B 型 (ビクトリア系統) 12 件 (27.9%)、AH1pdm09 型が 11 件 (25.6%) でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ (入院) の年齢階級別報告数



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

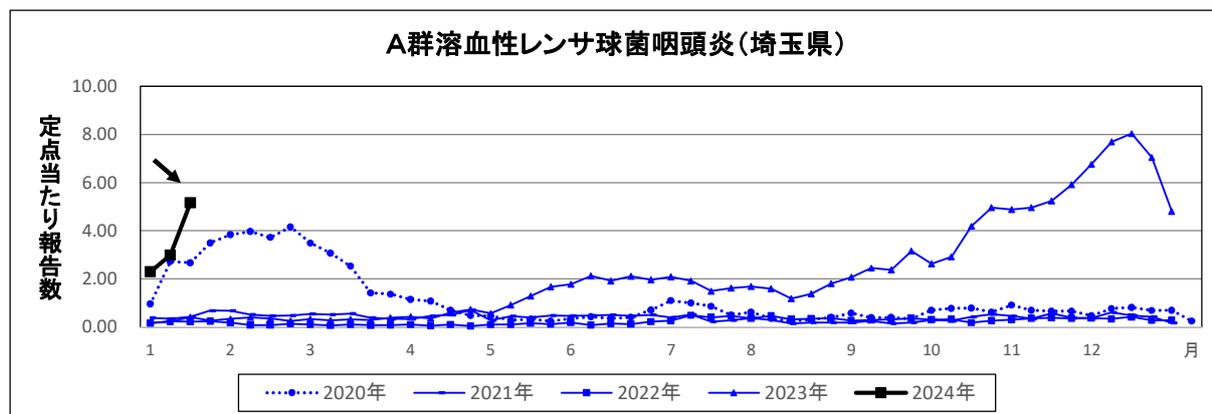


図 3-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024年第1週～第3週)

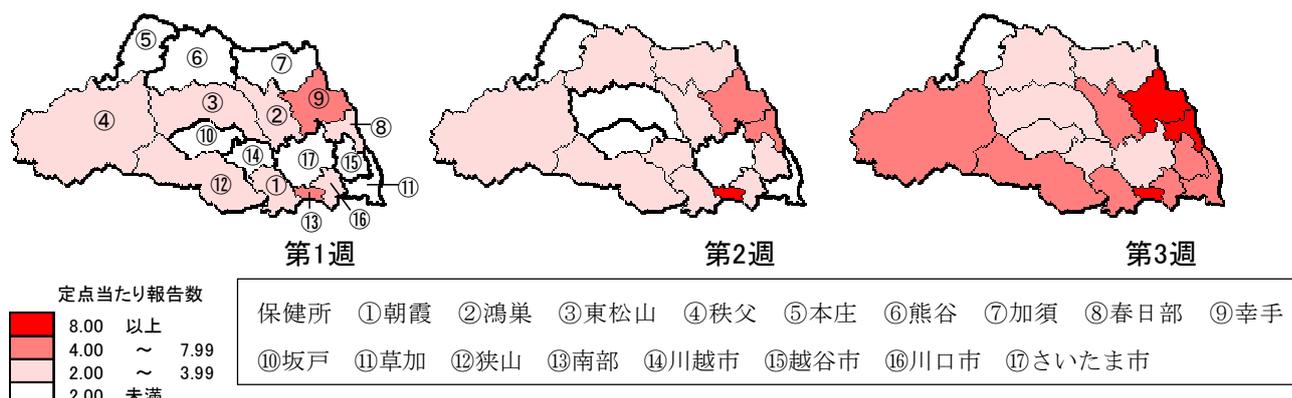
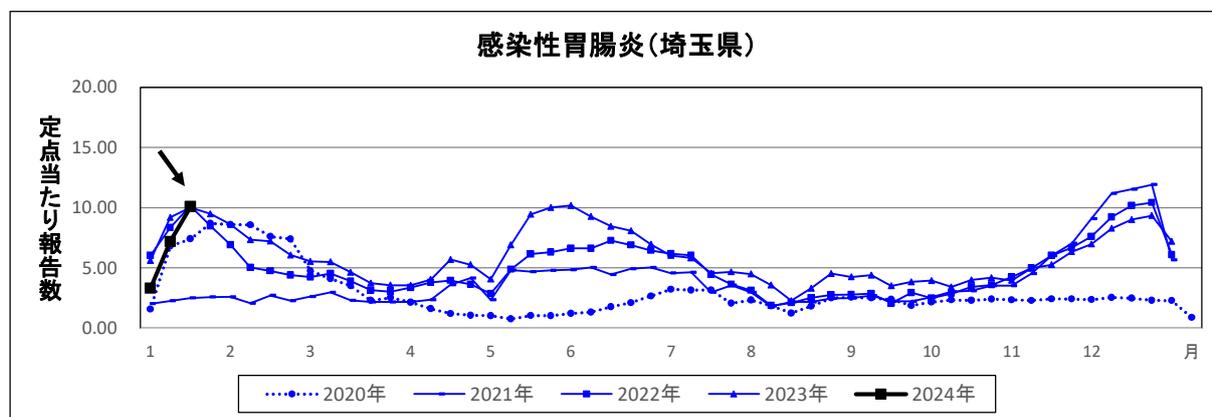


図 4 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第3週)

(2024年1月23日 15:15集計)

	今週 届出	累 計	2023年 累計		今週 届出	累 計	2023年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			3
細菌性赤痢			9	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症	3	4	167				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎	1	2	43	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱		1	
エムポックス			5	日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兎病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	2	4	112
つつが虫病			3	レプトスピラ症			
デング熱		1	9	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢			28	侵襲性肺炎球菌感染症	3	3	80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			7	水痘(入院例に限る)			13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	4	71	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			6	梅毒	11	23	462
急性脳炎	1	4	39	播種性クリプトコックス症			7
クリプトスポリジウム症				破傷風			4
クロイツフェルト・ヤコブ病			8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	17	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群			32	百日咳	1	2	79
ジアルジア症			3	風しん			1
侵襲性インフルエンザ*菌感染症	1	1	9	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(2023年12月分)

2023年12月の届出総数は、患者41人、無症状病原体保有者35人の計76人であった。前月と比べると、患者数は同水準であり、無症状病原体保有者数は増加した。過去1年と比較して、患者数は同水準で、無症状病原体保有者数は多かった。推定感染地域は国内50人、国外3人、不明23人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2022年12月～2023年12月)

	2022年*	2023年												累計**
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
<b>総計</b>	47	73	61	72	63	62	67	57	59	62	50	59	76	761
<b>年齢階級</b>														
10歳未満	1	1	1	1	4	2	4	1	1	0	0	0	5	20
10歳代	1	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	9
20歳代	3	9	4	6	7	3	7	14	5	6	3	2	8	74
30歳代	3	5	6	7	10	5	1	1	3	2	3	6	7	56
40歳代	1	5	3	10	3	2	5	2	1	3	2	4	3	43
50歳代	9	8	5	7	4	7	6	5	5	10	5	10	5	77
60歳代	3	8	11	6	9	8	8	9	5	10	10	8	12	104
70歳代	12	17	13	14	10	11	12	14	19	7	10	8	10	145
80歳代	12	16	16	14	11	18	17	7	16	17	15	17	17	181
90歳以上	2	2	2	6	4	6	6	3	4	6	1	3	9	52
<b>性</b>														
男	34	46	32	40	45	34	38	38	40	40	29	39	44	465
女	13	27	29	32	18	28	29	19	19	22	21	20	32	296
<b>類型</b>														
患者	34	51	44	47	35	46	35	47	49	49	34	42	41	520
感染症死亡者の死体	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	13	21	16	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	238
<b>病型</b>														
肺結核	29	34	30	31	24	29	27	37	35	38	28	26	31	370
肺結核及びその他の結核	0	7	6	3	3	6	5	3	7	2	2	7	5	56
その他の結核	5	10	9	13	8	11	4	7	7	9	4	9	5	96
疑似症患者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	13	21	16	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	238
<b>推定感染地域</b>														
国内	22	42	43	46	44	38	41	27	37	42	31	35	50	476
国外	5	8	4	3	3	3	3	11	5	4	1	6	3	54
不明	20	23	14	23	16	21	23	19	17	16	18	18	23	231

\*:2022年の届出数は暫定値

\*\*：2023年1月からの累積届出数

12月に診断された76人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計31人の報告があり、60歳代以上が19人で61%を占めた。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2023年12月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
<b>総計</b>	31	5	5	0	35	76
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	5	5
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	5	0	2	0	1	8
30歳代	2	0	0	0	5	7
40歳代	3	0	0	0	0	3
50歳代	2	1	0	0	2	5
60歳代	9	0	0	0	3	12
70歳代	4	0	0	0	6	10
80歳代	5	2	2	0	8	17
90歳以上	1	2	1	0	5	9

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第3週

1月15日~1月21日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)	
																							報告数
全 県	報告数	5,865	3,769	8	186	849	1,655	43	15	4	43	2	10	-	26	-	-	-	-	-	-	20	76
	定点当たり	22.56	14.50	0.05	1.13	5.18	10.09	0.26	0.09	0.02	0.26	0.01	0.06	-	0.63	-	-	-	-	-	-	1.67	6.33
朝 霞	報告数	523	262	1	21	90	166	4	3	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	22.74	11.39	0.07	1.40	6.00	11.07	0.27	0.20	-	0.13	-	0.07	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	5.00
鴻 巣	報告数	505	345	-	15	67	144	1	2	-	1	-	1	-	4	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	26.58	18.16	-	1.25	5.58	12.00	0.08	0.17	-	0.08	-	0.08	-	1.33	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	194	75	-	2	16	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	24.25	9.38	-	0.40	3.20	6.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	53	47	-	5	16	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	10.60	9.40	-	1.67	5.33	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	81	93	-	2	2	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	11.57	13.29	-	0.50	0.50	0.25	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数	245	218	1	12	25	64	-	4	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	4
	定点当たり	18.85	16.77	0.13	1.50	3.13	8.00	-	0.50	-	0.13	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	1.00	4.00
加 須	報告数	166	141	-	2	13	8	1	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	9
	定点当たり	16.60	14.10	-	0.33	2.17	1.33	0.17	-	-	-	-	0.17	-	2.00	-	-	-	-	-	-	1.00	9.00
春 日 部	報告数	300	214	3	23	75	137	1	-	-	5	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	30.00	21.40	0.50	3.83	12.50	22.83	0.17	-	-	0.83	-	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	451	347	-	24	135	45	8	-	-	3	-	-	-	3	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	32.21	24.79	-	2.67	15.00	5.00	0.89	-	-	0.33	-	-	-	1.50	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	124	151	-	2	13	66	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27
	定点当たり	12.40	15.10	-	0.33	2.17	11.00	0.17	-	-	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	27.00
草 加	報告数	546	363	-	7	49	114	5	1	1	4	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	28.74	19.11	-	0.58	4.08	9.50	0.42	0.08	0.08	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	647	410	2	18	78	113	7	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5
	定点当たり	25.88	16.40	0.13	1.13	4.88	7.06	0.44	-	-	0.31	-	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	5.00
南 部	報告数	271	165	-	18	70	99	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
	定点当たり	33.88	20.63	-	3.60	14.00	19.80	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	3.00
川 越 市	報告数	261	122	-	2	23	66	1	-	-	1	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	18.64	8.71	-	0.25	2.88	8.25	0.13	-	-	0.13	-	0.13	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	347	254	-	2	33	73	2	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4
	定点当たり	26.69	19.54	-	0.25	4.13	9.13	0.25	0.13	-	0.88	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	4.00
川 口 市	報告数	494	229	1	14	66	170	-	1	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
	定点当たり	26.00	12.05	0.08	1.08	5.08	13.08	-	0.08	0.15	0.31	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	4.00
さいたま市	報告数	657	333	-	17	78	358	10	3	1	10	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	3	13
	定点当たり	15.28	7.74	-	0.61	2.79	12.79	0.36	0.11	0.04	0.36	-	0.07	-	0.89	-	-	-	-	-	-	3.00	13.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

1月 23日 14:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数		年齢別																		
	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ #1	5,865	14	40	146	246	264	334	372	396	356	356	317	1,109	504	347	344	275	215	114	73	43
新型コロナウイルス感染症	3,769	22	70	120	109	101	93	112	118	102	99	104	391	202	346	385	412	393	220	185	185
	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~							
RSウイルス感染症	8	1	2	1	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-							-
咽頭結膜熱	186	1	4	21	20	35	24	26	18	11	11	4	8	-							3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	849	1	2	20	39	67	77	104	101	114	77	87	106	13							41
感染性胃腸炎	1,655	7	70	213	213	172	137	150	156	93	91	73	153	16							111
水痘	43	-	1	3	2	-	4	2	2	4	5	5	15	-							-
手足口病	15	1	1	3	2	3	3	1	-	-	-	-	-	1							-
伝染性紅斑	4	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-							-
突発性発しん	43	-	6	27	6	2	2	-	-	-	-	-	-	-							-
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-							-
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	1	-	1	-	2	1	1	1	3	-							-
	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	10	3	2	2	4		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	20	-	5	4	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	76	4	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	3	2	8	53				

※ 表中の数値は各定点からの報告数（-：0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第1週 (1月1日～1月7日)

令和6年1月24日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は第50週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(26.05)、茨城県(22.34)、岐阜県(20.82)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,162例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(55例)、1～9歳(207例)、10代(32例)、20代(21例)、30代(24例)、40代(34例)、50代(58例)、60代(116例)、70代(225例)、80歳以上(390例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は岐阜県(15.23)、長野県(12.61)、愛知県(12.40)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,336例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(94例)、1～9歳(44例)、10代(17例)、20代(27例)、30代(33例)、40代(61例)、50代(131例)、60代(197例)、70代(569例)、80歳以上(1,163例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は北海道(0.35)、沖縄県(0.16)、福島県(0.12)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(3.81)、鹿児島県(3.80)、石川県(2.96)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は北海道(3.23)、茨城県(3.00)、山口県(2.98)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(5.89)、宮崎県(5.69)、香川県(5.50)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.61)、奈良県(0.50)、山梨県(0.42)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は福井県(0.08)、岡山県(0.06)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は富山県(0.17)、鹿児島県(0.10)、徳島県(0.09)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は鹿児島県(0.06)、栃木県(0.04)、埼玉県(0.04)、千葉県(0.04)、岡山県(0.04)である。

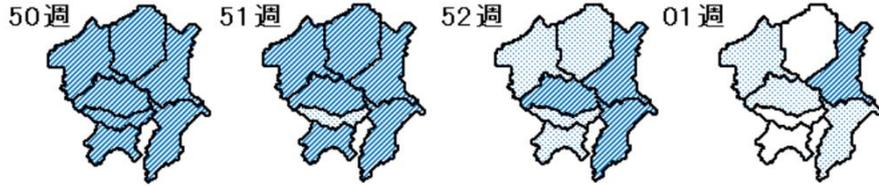
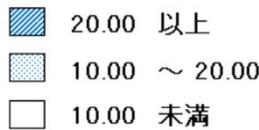
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.43)、福井県(0.33)、茨城県(0.23)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は横ばいであった。2都道府県から3例報告があり、年齢別では0歳(1例)、5～9歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第1週(1月1日～1月7日):通巻第26巻 第1号 より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(22.34)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2024年 01週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	61,918	16,517	2,681	606	887	3,523	2,901	3,162	2,757
	定点当たり	12.66	11.06	22.34	7.97	10.44	13.82	14.58	7.83	7.77
新型コロナウイルス感染症	報告数	34,035	8,165	1,472	480	525	1,649	1,490	1,365	1,184
	定点当たり	6.96	5.47	12.27	6.32	6.18	6.47	7.49	3.38	3.34
RSウイルス感染症	報告数	131	21	6	1	-	2	8	3	1
	定点当たり	0.04	0.02	0.08	0.02	-	0.01	0.06	0.01	0.00
咽頭結膜熱	報告数	4,524	1,106	68	57	44	350	187	178	222
	定点当たり	1.46	1.18	0.91	1.19	0.83	2.20	1.48	0.70	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,377	1,711	225	76	78	366	300	379	287
	定点当たり	1.73	1.83	3.00	1.58	1.47	2.30	2.38	1.49	1.30
感染性胃腸炎	報告数	8,766	3,036	218	103	119	526	461	911	698
	定点当たり	2.82	3.24	2.91	2.15	2.25	3.31	3.66	3.59	3.16
水痘	報告数	452	155	8	-	3	29	15	31	69
	定点当たり	0.15	0.17	0.11	-	0.06	0.18	0.12	0.12	0.31
手足口病	報告数	442	85	8	7	14	5	11	32	8
	定点当たり	0.14	0.09	0.11	0.15	0.26	0.03	0.09	0.13	0.04
伝染性紅斑	報告数	29	11	1	-	-	1	-	7	2
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	-	0.01	-	0.03	0.01
突発性発しん	報告数	357	91	4	6	6	21	15	25	14
	定点当たり	0.12	0.10	0.05	0.13	0.11	0.13	0.12	0.10	0.06
ヘルパンギーナ	報告数	66	11	3	1	-	2	1	2	2
	定点当たり	0.02	0.01	0.04	0.02	-	0.01	0.01	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	43	15	1	2	-	7	5	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	0.01	0.04	-	0.04	0.04	-	-
急性出血性結膜炎	報告数	9	4	-	1	1	-	1	-	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	0.08	0.07	-	0.03	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	493	159	26	10	9	25	20	13	56
	定点当たり	0.72	0.79	1.53	0.83	0.64	0.61	0.61	0.33	1.24
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	2	-	1	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	0.14	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	7	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.08	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	24	7	3	-	-	2	-	2	-
	定点当たり	0.05	0.08	0.23	-	-	0.17	-	0.08	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査  
2024年

▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)

▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)

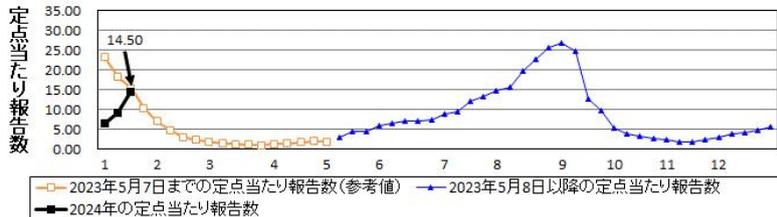
## 感染症の流行状況 2024年 第3週

2024年第3週（1月15日～1月21日）の要点

[新型コロナウイルス感染症](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き、大きく増加しました。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

新型コロナウイルス感染症(埼玉県)



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↑	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↓	★★★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン